ボーリング柱状図

調　査　名　平成28年度 二級河川 本川水系 楠谷川　災害関連緊急砂防事業に伴う業務委託（その２）

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Ｂｏｒ．Ｎｏ．１	調査位置	竹原市竹原町			北緯	34° 20’ 17.8265″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			調査期間	平成 28年 10月 14日 ～ 28年 10月 18日	東経	132° 55’ 04.6538″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 35.03m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 9°	使用機種	
総掘進長	4.50m					試錐機	東邦Ｄ－1	ハンマー落下用具	自動落下
						エンジン	ヤンマーＮＦＤ－１２	ポンプ	東邦ＢＧ－３

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事		孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
									粗砂主体。															
									表層50cm程度まで木根を含む。															
									所々に径5mm程度の小礫を含む。															
	34.13	0.90	0.90		砂	褐	極緩			第四紀														
1	33.53	0.60	1.50		風化花崗岩	褐			粗粒花崗岩強風化土（砂質土）。	DL		1.15	4	9	13	26/30	26							
2	33.03	0.50	2.00		風化花崗岩	褐			粗粒花崗岩強風化部（軟岩Ⅰ）。	DH		1.45												
									風化が著しく、ハンマー軽打で容易に割れる。															
3					風化花崗岩	灰褐			粗粒花崗岩強風化部（軟岩Ⅰ）。	CL														
									コア長10cmの短柱状コア。															
4	30.53	2.50	4.50						割れ目が発達し、割れ目沿いは土砂化している。															
									ハンマー打撃で割れ目周辺は礫状に砕ける。															
									コア肌はざらざらしている。															
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								